

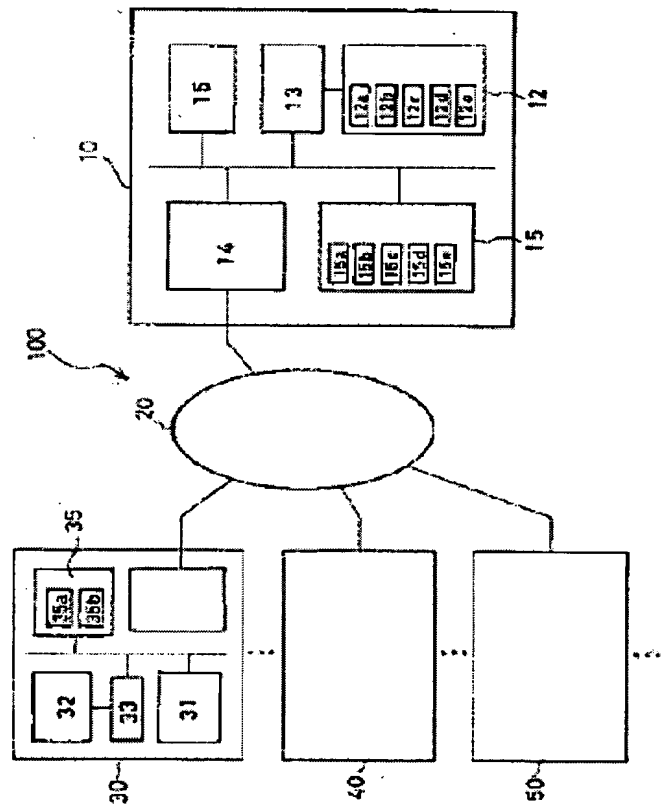
# SYSTEM FOR ORDERING AND ORDER RECEPTION THROUGH INTERNET

**Patent number:** JP2001325537  
**Publication date:** 2001-11-22  
**Inventor:** WADA SHIGEFUMI; NAKAYAMA SHIGERU; KUROZU SEIICHI; TAKAHASHI TOMOHISA  
**Applicant:** OBIC BUSINESS CONSULTANTS LTD  
**Classification:**  
 - international: **G06F19/00; G06F19/00; (IPC1-7): G06F17/60; G06F19/00**  
 - european:  
**Application number:** JP20000146410 20000518  
**Priority number(s):** JP20000146410 20000518

Report a data error here

## Abstract of JP2001325537

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To solve such problems that though order slip formats have been determined for every industry to solve problem due to order slip format, business type formats for every industry need to be converted, therefore a standard order form has been determined, but the order receiving operation system needs to have been remodeled, and further, the tables of a database relating to ordering and order receiving operation needs to have been updated. **SOLUTION:** A agent device which determines the standard order format and receives and converts the standard order format into the business style format of an ordered destination is provided on the Internet and when the database is updated according to ordering and order reception data, all tables relating to it are updated at the same time.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-325537

(P2001-325537A)

(43) 公開日 平成13年11月22日 (2001. 11. 22)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	テーマコード(参考)
G 0 6 F 17/60	3 3 6	G 0 6 F 17/60	3 3 6 5 B 0 4 9
	3 0 6		3 0 6
	3 1 4		3 1 4
	3 1 8		3 1 8 G
	5 0 4		5 0 4

審査請求 有 請求項の数 6 O L (全 10 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-146410(P2000-146410)

(22) 出願日 平成12年5月18日(2000. 5. 18)

(71) 出願人 593089895

株式会社オービックビジネスコンサルタント

東京都新宿区西新宿二丁目1番1号

(72) 発明者 和田 成 史

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 株式会社オービックビジネスコンサルタント内

(72) 発明者 中山 茂

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 株式会社オービックビジネスコンサルタント内

(74) 代理人 100093399

弁理士 瀬谷 徹 (外2名)

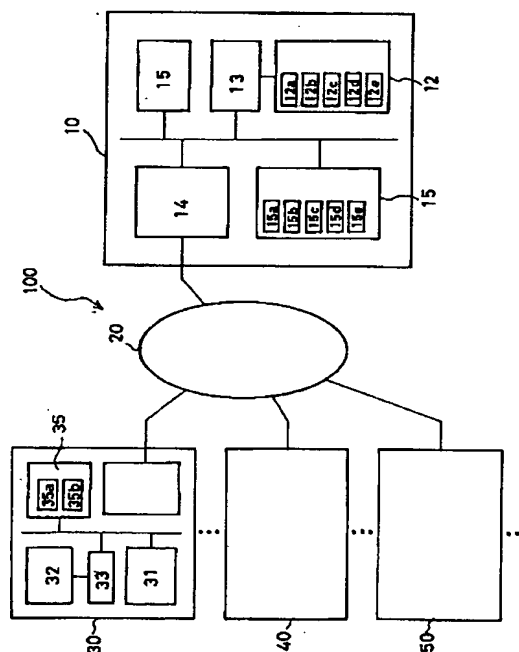
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 インターネットを介する受発注システム

(57) 【要約】

【課題】 発注伝票フォーマットによる不都合を解消するため各業界毎のフォーマットが定められていたが、多くの各業界毎の業種フォーマットを変換する必要があった。そこで統一注文フォーマットを定めたが、そのために受注業務システムを改造する必要があった。さらに、以上の受発注作業を行うと共にそれに関連するデータベースのテーブルの一連の更新を行う必要があった。

【解決手段】 統一注文フォーマットを定めて、それを受信して発注先の業種フォーマットに変換する仲介装置をインターネット上に設け、さらに受発注データによるデータベース更新に際しては、それに関連するすべてのテーブルも同時にデータ更新するようにする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数の企業／個人が会員を形成し、発注する伝票フォーマットを予め会員利用者の統一注文フォーマットに定め、インターネットを介した発注のアクセス信号に応答して前記統一注文フォーマット入力画面Webページを送信し、利用者がその画面に入力した発注データを受信し、発注先企業業種フォーマットに変換して、利用者の指定した発注先企業にインターネットを介して送信するWebサーバを備えた受発注仲介装置を用いる電子商取引を行う受発注システムにおいて、前記企業／個人会員が業務プログラムを遂行すると共に電子商取引を行う受発注業務処理装置は、それらの業務に必要な情報データを記録し読み出すことができる複数のテーブルからなり、かつそれらのテーブル間で受発注を含む関連するすべての伝票データ及びマスターデータに整合性のある業務用データベースを有し、前記業務処理装置間における発注に際し、その装置が発注データを送信する場合は、まずその発注データを前記整合性を保つように業務用データベースのデータ更新を行うと共にインターネットを介して前記受発注仲介装置に統一注文フォーマットで送信し、次にその受発注仲介装置は前記変換処理を行って変換された発注先企業業種フォーマットを発注先業務処理装置に送信することによって発注を行い、一方、前記装置が受注データを受信した場合は、その発注フォーマットは前記受発注仲介装置により自企業の業種フォーマットに変換されており、そのまま受注データとして受入れ、さらにその受注データを前記整合性を保つように直接業務用データベースのデータ更新を行うことによって、電子商取引受発注に伴うデータベース関連テーブルのすべてのデータ更新作業が完了することとを特徴とするインターネットを介する受発注システム。

【請求項2】 前記企業／個人会員の受発注業務処理装置は、企業の各種業務プログラムを処理する業務処理用端末部と、業務に必要な情報データを記録し読み出すことができる業務用データベース部を管理するデータベースサーバと、Webサーバと、それらを制御する処理制御サーバとを少なくとも備え、

前記処理制御サーバは、電子商取引を行うため、発注元業務処理装置から送信されてくる電子商取引データを前記Webサーバで受信し、その受信データに関連するすべての前記業務用データベース部のデータベーステーブルをその受信データにより更新する第1用のインターネットデータ交換処理手段と、

一方、前記Webサーバからの発注先業務処理装置へ電子商取引データを送信すると共に、その送信データに関連するすべての前記業務用データベース部のデータベーステーブルをその送信データにより更新する第2用のインターネットデータ交換処理手段とを少なくとも備え、発注元業務処理装置から発注／決済データを送信された

ときは、前記処理制御サーバは、そのデータを受信し、受注／入金データとして前記第1用のインターネットデータ交換処理手段により整合性を保って、前記データベースのすべての関連テーブルが更新され、一方、前記Webサーバから発注／決済データを発注先業務処理装置へ送信するときは、処理制御サーバは、データを送信すると共に、前記第2用のインターネットデータ交換処理手段により整合性を保って前記データベースのすべての関連テーブルが更新され発注先では受注／入金データとして受信されることを特徴とする請求項1記載のインターネットを介する受発注システム。

【請求項3】 前記処理制御サーバの第1用及び第2用インターネットデータ交換処理手段は、それぞれ前記業務プログラムのテーブル毎の書込処理に際して、カスタマイズの有無の第1の状態と、伝票又はマスターテーブルデータ処理の新規・修正・削除の第2の状態の各組合せ毎に書込関数を設け、さらに、それぞれの書込関数には少なくとも書込先データベース名、書込データ、通し番号、テーブル間の関連を識別するための識別符号をセットし、カスタマイズされている書込関数はさらにカスタマイズした追加データとそのフォーマットを引数とした書込関数群DLLファイルを備え、

前記処理制御サーバの所定のパスに所定のファイル名でその業務用データベース部に関するすべての情報が含まれたデフォルトダンプファイルが生成されていないときは、予めそのファイルを生成し、ここで、前記商取引受発注の各種データ書込処理のため各テーブル毎に前記関数を呼び出すアプリケーションプログラムにより、前記第1用インターネットデータ交換処理手段の場合はインターネットを介して電子商取引の受信データを更新したいテーブル毎に、前記第2用インターネットデータ交換処理手段の場合はインターネットに発注データを送信すると同時に電子商取引の送信発注データを更新したいテーブル毎に、前記データベースにカスタマイズにも対応した書込処理ができることを特徴とする請求項2記載のインターネットを介する受発注システム。

【請求項4】 前記受発注仲介装置は、前記Webサーバ部に加えて、仲介業務に必要な仲介用データベース部を管理するデータベースサーバと、仲介管理用端末と、それらを制御する処理制御サーバとを少なくとも備え、前記仲介用データベース部は、前記会員の仲介利用者登録テーブルと、前記統一注文フォーマットテーブルと、業種フォーマットテーブルと、利用者仲介履歴テーブルと、発注先企業業種リストテーブルとからなり、前記処理制御サーバは、最初の仲介利用者にWebページの利用者登録データ入力画面でデータを入力させ、前記仲介利用者登録テーブルに登録する仲介利用者登録手段と、

仲介利用者登録テーブルに登録されていれば、統一注文フォーマットテーブルより統一注文フォーマットを抽出

して、その入力画面のWebページを利用者の発注元の業務処理装置へ送信し、そこで発注データを入力させて、そのデータを受信すると共に発注先企業の業種を前記発注先企業業種リストテーブルにより検索して判別を行う発注データ受信／発注先企業判別手段と、前記業種フォーマットテーブルよりその業種フォーマットを抽出してその各項目欄に前記発注内容を入れる業種フォーマット変換手段と、

発注先企業のURLアドレスにその業種フォーマットの発注伝票を送信する発注先企業データ送信手段とからなることを特徴とする請求項1、2又は3記載のインターネットを介する受発注システム。

【請求項5】 前記発注先企業データ送信手段は、発注伝票を送信した利用者に通知又は／及びその発注先企業からの受注を確認し、利用者に通知する発注先企業受注確認手段を含むことを特徴とする請求項4記載のインターネットを介する受発注システム。

【請求項6】 前記業務プログラムは販売・仕入管理プログラム、顧客管理プログラム、在庫管理プログラム、財務会計管理プログラムを含むことを特徴とする請求項1、2、3、4又は5記載のインターネットを介する受発注システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】統一注文フォーマットを定め、電子商取引受発注業務処理装置において、発注に際しては統一注文フォーマットを使用し、インターネット上の受発注仲介装置で発注先の業種フォーマットに変換し、発注先へ送信する受発注システムに関し、さらに詳しくは、その業務処理装置から発注を行うに際して、その唯一の業務用データベース内の発注データに関連するすべての伝票マスターデータに整合性を保つように発注データで更新してその発注データを仲介装置を介して発注し、一方、仲介装置を介して受注した受信データにより、前記業務用データベースを整合性を保つようにデータ更新することにより、データ更新作業が、電子商取引毎に完了させ、次の電子商取引の際の、現時点での商品の売上処理や在庫状況判断が短時間で把握することが可能な受発注システムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来購入納期の短縮と受発注業務の省力化のため企業間相互のコンピュータを専用回線や、ISDN公衆回線で接続して受発注情報を交換するいわゆる電子受発注取引が行われていた。これらの電子受発注取引は、インターネットの普及に伴いそれぞれの業界内で広く行われ、企業毎に異なっていた発注伝票フォーマットによる不都合を解消するため各業界毎のフォーマットが定められてきた。

【0003】しかしながら、前記各業界毎のフォーマットは、鉄鋼業界、自動車業界、家電業界、衣料品業界、

食品業界など百を超えるそれぞれの業界毎に異なるため、他の業界に対する電子受発注取引を行うためには、発注先の各業界毎の業種フォーマットにあわせて変換しなければならない問題があった。

【0004】また、企業間の電子受発注取引を行うためには、業界の電子受発注取引のための専用の業務プログラムを購入しなければならないため、利用頻度の低い中小企業や個人は経費負担上で問題があった。

【0005】さらに、従来の企業内コンピュータの販売仕入管理業務システムとインターネット等の通信回線と接続された電子受発注取引業務システムとを連動させるには、既存の販売仕入管理業務システムを全面的に作り替える必要がある問題があった。

【0006】前記の問題を解決するため、最近ソフトウェア業界を中心としてインターネットを利用した発注について統一注文フォーマットを制定する計画が進められている。しかし、その統一注文フォーマットの受注を受ける企業がその受注を受け入れるためには、その企業の受注業務システムを改造しなければならない問題がある。

【0007】さらに、発注企業においては、企業内の仕入伝票を発行する仕入管理システム、入荷確認して買掛金を計上する財務会計システムへの入力、電子決済での代金振込に伴う仕訳伝票入力など、販売・仕入・財務などの基幹業務システムのそれぞれに一連の処理を行わねばならない。データベースに保存する場合は、それを考慮して、発注に際して発注データに関連するすべてのテーブルを更新しなければならない問題がある。

【0008】また、受注企業においては、発注企業から電子商取引システムを通じて送られてきた注文データを、販売管理システムに受注データとして入力し（受注伝票発行）、出荷発送指示を行い（納品伝票発行）、出荷後には売掛金を財務会計システムに入力する（売上・請求伝票発行）処理を行わねばならない。データベースに保存記録するときは前述と同様の考慮をして、受注データに関連するすべてのテーブルを更新しなければならない問題がある。

【0009】このため、一連の流れの業務処理に多くの作業時間と手間がかかる問題であった。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、前述した多くの問題に鑑みてなされたものである。それらを解決するためにインターネットを介して行う電子商取引受発注において、統一注文フォーマットを定め、企業／個人が会員を形成して、受発注業務処理装置から発注するときは統一注文フォーマットを使用し、インターネット上に設けた受発注仲介装置で発注先の業種フォーマットに変換し、発注先へ送信する受発注システムとしたものである。さらに、その受発注業務処理装置から発注を行うに際して、業務用データベース内の発注データに関連する

すべてのテーブルを整合性を保つように発注データで自動的に更新する手段を備え、一方仲介装置を介して受注した受信データにより、その業務用データベースを同様に整合性を保つように自動的に更新する手段を備え、電子商取引に伴う多くの更新作業を短時間で自動的に終了させ、次の電子商取引にいつでも対応できるインターネットを介する受発注システムを提供するのがその目的である。

【0011】

【課題を解決するための手段】前記課題を解決するため、本発明のインターネットを介する受発注システムは、複数の企業／個人が会員を形成し、発注する伝票フォーマットを予め会員利用者の統一注文フォーマットに定め、インターネットを介した発注のアクセス信号に回答して前記統一注文フォーマット入力画面Webページを送信し、利用者がその画面に入力した発注データを受信し、発注先企業業種フォーマットに変換して、利用者の指定した発注先企業にインターネットを介して送信するWebサーバを備えた受発注仲介装置を用いる電子商取引を行う受発注システムにおいて、前記企業／個人会員が業務プログラムを遂行すると共に電子商取引を行う受発注業務処理装置は、それらの業務に必要な情報データを記録し読み出すことができる複数のテーブルからなり、かつそれらのテーブル間で受発注を含む関連するすべての伝票データ及びマスタデータに整合性のある業務用データベースを有し、前記業務処理装置間における発注に際し、その装置が発注データを送信する場合は、まずその発注データを前記整合性を保つように業務用データベースのデータ更新を行うと共にインターネットを介して前記受発注仲介装置に統一注文フォーマットで送信し、次にその受発注仲介装置は前記交換処理を行って変換された発注先企業業種フォーマットを発注先業務処理装置に送信することによって発注を行い、一方、前記装置が受注データを受信した場合は、その発注フォーマットは前記受発注仲介装置により自企業の業種フォーマットに変換されており、そのまま受注データとして受入れ、さらにその受注データを前記整合性を保つように直接業務用データベースのデータ更新を行うことによって、電子商取引受発注に伴うデータベース関連テーブルのすべてのデータ更新作業が完了することを特徴とする。

【0012】また、前記企業／個人会員の受発注業務処理装置は、企業の各種業務プログラムを処理する業務処理用端末部と、業務に必要な情報データを記録し読み出すことができる業務用データベース部を管理するデータベースサーバと、Webサーバと、それらを制御する処理制御サーバとを少なくとも備え、前記処理制御サーバは、電子商取引を行うため、発注元業務処理装置から送信されてくる電子商取引データを前記Webサーバで受信し、その受信データに関連するすべての前記業務用デ

ータベース部のデータベーステーブルをその受信データにより更新する第1用のインターネットデータ交換処理手段と、一方、前記Webサーバからの発注先業務処理装置へ電子商取引データを送信すると共に、その送信データに関連するすべての前記業務用データベース部のデータベーステーブルをその送信データにより更新する第2用のインターネットデータ交換処理手段とを少なくとも備え、発注元業務処理装置から発注／決済データを送信されたときは、前記処理制御サーバは、そのデータを受信し、受注／入金データとして前記第1用のインターネットデータ交換処理手段により整合性を保って、前記データベースのすべての関連テーブルが更新され、一方、前記Webサーバから発注／決済データを前記仕入先の発注先業務処理装置へ送信するときは、処理制御サーバは、データを送信すると共に、前記第2用のインターネットデータ交換処理手段により整合性を保って前記データベースのすべての関連テーブルが更新され発注先では受注／入金データとして受信されることを特徴とする。

【0013】また、前記処理制御サーバの第1用及び第2用インターネットデータ交換処理手段は、それぞれ前記業務プログラムのテーブル毎の書込処理に際して、カスタマイズの有無の第1の状態と、伝票又はマスタテーブルデータ処理の新規・修正・削除の第2の状態の各組合せ毎に書込関数を設け、さらに、それぞれの書込関数には少なくとも書込先データベース名、書込データ、通し番号、テーブル間の関連を識別するための識別符号をセットし、カスタマイズされている書込関数はさらにカスタマイズした追加データとそのフォーマットを引数とした書込関数群DLLファイルを備え、前記処理制御サーバの所定のバスに所定のファイル名でその業務用データベース部に関するすべての情報が含まれたデフォルトダンプファイルが生成されていないときは、予めそのファイルを生成し、ここで、前記商取引受発注の各種データ書込処理のため各テーブル毎に前記関数を呼び出すアプリケーションプログラムにより、前記第1用インターネットデータ交換処理手段の場合はインターネットを介して電子商取引の受信データを更新したいテーブル毎に、前記第2用インターネットデータ交換処理手段の場合はインターネットに発注データを送信すると同時に電子商取引の送信発注データを更新したいテーブル毎に、前記データベースにカスタマイズにも対応した書込処理ができることを特徴とする。

【0014】また、前記受発注仲介装置は、前記Webサーバ部に加えて、仲介業務に必要な仲介用データベース部を管理するデータベースサーバと、仲介管理用端末と、それらを制御する処理制御サーバとを少なくとも備え、前記仲介用データベース部は、前記会員の仲介利用者登録テーブルと、前記統一注文フォーマットテーブルと、業種フォーマットテーブルと、利用者仲介履歴デー

ブルと、発注先企業業種リストテーブルとからなり、前記処理制御サーバは、最初の仲介利用者にWebページの利用者登録データ入力画面でデータを入力させ、前記仲介利用者登録テーブルに登録する仲介利用者登録手段と、仲介利用者登録テーブルに登録されていれば、統一注文フォーマットテーブルより統一注文フォーマットを抽出して、その入力画面のWebページを利用者の発注元の業務処理装置へ送信し、そこで発注データを入力させて、そのデータを受信すると共に発注先企業の業種を前記発注先企業業種リストテーブルにより検索して判別を行う発注データ受信／発注先企業判別手段と、前記業種フォーマットテーブルよりその業種フォーマットを抽出してその各項目欄に前記発注内容を入れる業種フォーマット変換手段と、発注先企業のURLアドレスにその業種フォーマットの発注伝票を送信する発注先企業データ送信手段とからなることを特徴とする。

【0015】また、前記発注先企業データ送信手段は、発注伝票を送信した利用者に通知又は／及びその発注先企業からの受注を確認し、利用者に通知する発注先企業受注確認手段を含むことを特徴とする。

【0016】また、前記業務プログラムは販売・仕入管理プログラム顧客管理プログラム、在庫管理プログラム、財務会計管理プログラムを含むことを特徴とする。

【0017】

【発明の実施の形態】本発明の実施の形態を以下図に基づいて説明する。

【0018】図1は、本発明のインターネットを介する受発注システム100の構成図を示す。

【0019】ここで、30は企業／個人会員の業務プログラム処理と電子商取引を行う受発注業務処理装置、40はインターネット20と接続している発注元の業務処理装置（装置30の販売先）、50はインターネット20と接続している発注先の業務処理装置（装置30の仕入先）を示し、10はそれらの装置30、40、50間の発注伝票のフォーマットの差を調整仲介するための受発注仲介装置である。

【0020】受発注仲介装置10は以下のようにになっている。すなわち、複数の企業／個人が会員を形成し発注する伝票フォーマットを予め会員利用者の統一注文フォーマット1に定め、インターネットを介した発注のアクセス信号に応答してその統一注文フォーマット入力画面Webページを送信し、利用者がその画面に入力した発注データを受信し発注先企業業種フォーマット2に変換して、利用者の指定した発注先企業にインターネットを介して送信する装置である。

【0021】受発注仲介装置10の構成は、少なくともWebサーバ部14、仲介業務に必要な仲介用データベース部12を管理するデータベースサーバ13と、仲介管理端末11と、それらを制御する処理制御サーバ15とを備える。

【0022】仲介用データベース部12は、会員の仲介利用者登録テーブル12aと、統一注文フォーマットテーブル12bと、業種フォーマットテーブル12cと、利用者仲介履歴テーブル12dと、発注先企業業種リストテーブル12eとからなる。

【0023】処理制御サーバ15は、最初の仲介利用者にWebページの利用者登録データ入力画面でデータを入力させ、仲介利用者登録テーブル12aに登録する仲介利用者登録手段15aと、仲介利用者登録テーブル12aに登録されていれば、統一注文フォーマットテーブル12bより統一注文フォーマット1を抽出して、その入力画面のWebページを利用者の発注元の業務処理装置30、40へ送信し、その装置で発注データを入力させて、そのデータを受信すると共に、発注先企業の業種を発注先企業業種リストテーブル12eにより検索して判別を行う発注データ受信／発注先企業判別手段15bと、業種フォーマットテーブル12cよりその業種フォーマット2を抽出してその各項目欄に統一注文フォーマットの項目からその発注内容に移し替える業種フォーマット変換手段15cと、発注先企業のURLアドレスにその業務フォーマットの発注伝票を送信する発注企業データ送信手段15dとからなる。さらに、送信手段15dは発注伝票を送信した利用者に通知又は／及びその発注先企業からの受注を確認し、利用者に通知する発注先企業受注確認手段15eを含む。

【0024】次に、企業／個人会員の受発注業務処理装置30、40、50は以下のようにになっている。すなわち、その構成は企業の各種業務プログラムを処理する業務処理用端末部31と業務に必要な情報データを記録し、読み出すことができる業務用データベース部32を管理するデータベースサーバ33と、Webサーバ34とそれらを制御する処理制御サーバ35を少なくとも備える。なお、前記企業の各種業務プログラムは主として販売・仕入管理プログラム、顧客管理プログラム、在庫管理プログラム、財務会計管理プログラムである。

【0025】処理制御サーバ35は電子商取引を行うため販売先の発注元業務処理装置40から送信されてくる電子商取引データをWebサーバ34で受信し、その受信データに関連するすべての業務用データベース部32のデータベーステーブルをその受信データにより更新する第1用のインターネットデータ交換処理手段35aと、一方Webサーバ34から仕入先の発注先業務処理装置50へ電子商取引データを送信すると共に、その送信データに関連するすべての業務用データベース部32のデータベーステーブルをその送信データにより更新する第2用のインターネットデータ交換処理手段35bとを少なくとも備える。

【0026】また、処理制御サーバ35の第1用及び第2用のインターネットデータ交換処理手段35a、35bは、それぞれ前記各種業務プログラムのテーブル毎の

書込処理に際して、カスタマイズの有無の第1の状態と、各種伝票又は各種マスタテーブルデータ処理の新規・修正・削除の第2の状態の各組合せ毎の書込関数を予め設け、さらにそれぞれの書込関数には少なくとも書込先データベース名、書込データ、通し番号、テーブル間の関連を識別するための識別符号をセットするようにし、カスタマイズされている書込関数には、さらにカスタマイズした追加データとそのフォーマットを引数としてセットする書込関数群DLL（ダイナミック・リンク・ライブラリ）ファイルを備える。

【0027】さらに、処理制御サーバ35の所定のパスに所定のファイル名でその業務用データベース部32に関するすべての情報が含まれたデフォルトダンプファイルが自動的に生成され、ここで前記商取引受発注の各種データ書込処理のため各テーブル毎に前記関数を呼び出すアプリケーションプログラムにより、第1用インターネットデータ交換処理手段35aの場合はインターネットを介して電子商取引の受信データを更新したいテーブル毎に、第2用インターネットデータ交換処理手段35bの場合はインターネットに発注データを送信すると同時に電子商取引の送信発注データを更新したいテーブル毎に、それぞれカスタマイズにも対応して、業務用データベース部32をテーブル間の整合性を保ちながら、データ更新の書込処理ができる。

【0028】よって、販売先がその発注元業務処理装置40から発注/決済データを送信するときは、受発注業務処理装置30の処理制御サーバ34はそのデータを受信し、受注/入金データとして第1用のインターネットデータ交換処理手段35aにより整合性を保って、業務用データベース32のすべての関連テーブルが更新され、一方、受発注業務処理装置30のWebサーバ34から発注/決済データを仕入先の発注先業務処理装置50へ送信するときは、装置30の処理制御サーバはデータを送信すると共に、第2用のインターネットデータ交換処理手段35bにより整合性を保って業務用データベース32のすべての関連テーブルを更新され仕入先では受注/入金データとして受信される。

【0029】次に、本発明のインターネットを介する受発注システム100の全体の総合的な動作の流れを図2、図3、図4に基づいて説明する。

【0030】ここで、図2は本発明の受発注システム100の発注データの流れを説明するための図である。

【0031】破線は、発注元の業務処理装置（装置30の販売先）40から受発注業務処理装置30への発注の流れを示す。

【0032】実線は、発注元の受発注業務処理装置30から発注先の業務処理装置（装置30の仕入先）50への発注の流れを示す。

【0033】図3は破線の流れを示し、図4は実線の流れを示す。

【0034】図3に従って、その破線の流れを説明する。

【0035】最初に、発注元の業務処理装置40（装置30の販売先）から受発注仲介装置10へアクセス信号を送り、仲介装置10から利用者登録データ入力画面を受け、それに登録データを入力して仲介装置10の仲介利用者登録テーブル12aに登録する（S31）。

【0036】登録されていれば、仲介装置10は発注元の装置40に回答して統一注文フォーマット1の発注入力画面のWebページを返信する（S32）。

【0037】発注元の装置40では統一注文フォーマット1に発注データを入力し、仲介装置10は発注データを受信して発注先の装置30の業種フォーマット2に変換し発注先の装置30へ転送する（S33）。

【0038】仲介装置10から転送された発注データは装置30において受注データとして受け付け、第1用のインターネットデータ交換処理手段35aにより、整合性を保って、業務用データベース32の関連テーブルのデータを更新する（S34）。

【0039】以後、続いて受発注の商取引がインターネット20を介して発生しても、業務用データベースは現時点でのデータに更新されているので、在庫数不足が商取引後に判明するなどの考慮はしないでもよい。いつでも直ちに次の商取引に対応できる（S35）。

【0040】次に、図4に従って、その実線の流れを説明する。

【0041】最初に、発注元の業務処理装置30から受発注仲介装置10へアクセス信号を送り、仲介装置10から利用者登録データ入力画面のWebページを受け、それに登録データを入力して仲介装置10の仲介利用者登録テーブル12aに登録する（S41）。

【0042】登録されていれば、仲介装置10は発注元の装置30に回答して統一注文フォーマット1の発注入力画面のWebページを返信する（S42）。

【0043】発注元の装置30では、統一注文フォーマット1に発注データを入力し、その発注データを第2用のインターネットデータ交換処理手段35bにより整合性を保って業務用データベース32の関連テーブルのすべてのデータ更新を行うと共に、仲介装置10へ発注データを統一注文フォーマット1で送信する（S43）。

【0044】受発注仲介装置10は、その統一注文フォーマット1の発注データを発注先の装置50の業種フォーマット2に変換し、発注先の装置50（装置30の仕入先）へ転送する（S44）。

【0045】装置50は業種フォーマット2の発注データを電子商取引の受注データとして受け付ける（S45）。

【0046】以後、続いて受発注の商取引がインターネット20を介して発生しても、業務用データベースは現時点でのデータに更新されているので、在庫数不足が商

取引後に判明するなどの考慮はしないでよい。いつでも直ちに次の商取引に対応できる（S46）。

【0047】次に、図5に書込関数の具体例を示す。図5は業務プログラム31aの一つである販売・仕入管理プログラムの業務を遂行するための売上伝票書込関数を示すものである。ここでは、業務用データベース部32の販売・仕入管理用テーブルへの登録更新が新規登録の場合の関数群を示す。

【0048】伝票は通常ヘッド部と明細部に分れているので、カスタマイズは図5の上表に示すように（イ）ヘッド・明細共に列を追加している場合、（ロ）ヘッドのみに列を追加している場合、（ハ）明細のみに列を追加している場合、（ニ）カスタマイズしていない場合の4状態に分けて、それぞれ書込関数を設けてある。

【0049】この中で（1）～（10）は関数の引数を示し、その引数リストを図5の下表に示す。カスタマイズしていない場合（ニ）は引数は少なくとも書込先データベース名（1）、伝票ヘッドデータ（3）、書込明細行数（6）、伝票明細データ（7）などがあるが、カスタマイズされている場合（イ）（ロ）（ハ）はその状態に

応じて伝票ヘッド追加データ（4）、伝票ヘッド追加書式（5）、伝票明細追加データ（8）、伝票明細追加書式（9）の引数をセットする。

【0050】いずれの場合も引数（3）の伝票ヘッドデータにセットされた通し番号、識別符号を基にして、業務用データベース部32にデータが書込更新されたとき、それと関連するすべてのテーブルもそのデータで更新し、不整合のないようにする。

【0051】  
【発明の効果】本発明のインターネットを介する受発注システムは以下に示す効果を奏する。

【0052】統一注文フォーマットを定めて、発注データを入力するようにし、企業先の業種フォーマットにインターネット上に備えた仲介装置で変換するようにしたので、企業／個人の発注担当者は容易に発注データを入力し、発注を行うことができる。

【0053】また、受発注装置において発注する際、その発注データを発注先へ送信すると共に、その装置内のデータベースに発注データを保存し、さらにその発注データによって関連するテーブルをすべて整合性のあるようなデータ更新手段を備えたので、発注担当者の作業は従来に比較して大きく軽減される。

【0054】さらに、以上のフォーマット仲介装置と、データ更新手段によって、電子商取引の受発注が短時間で完了できるので、次の電子商取引が容易に開始でき

ることとなり、インターネットを介する電子商取引の効率を充分に向上させることが可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のインターネットを介する受発注システムの構成図である。

【図2】本発明のインターネットを介する受発注システムの動作の流れを示す図である。

【図3】本発明のインターネットを介する受発注システムの動作の流れを示す図である。

【図4】本発明のインターネットを介する受発注システムの動作の流れを示す図である。

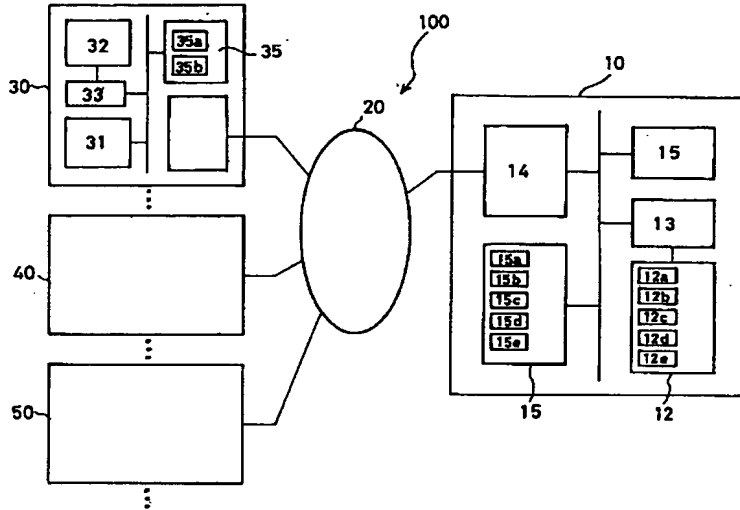
【図5】データベースに書込更新する売上伝票用の書込関数の一例を示す図である。

【符号の説明】

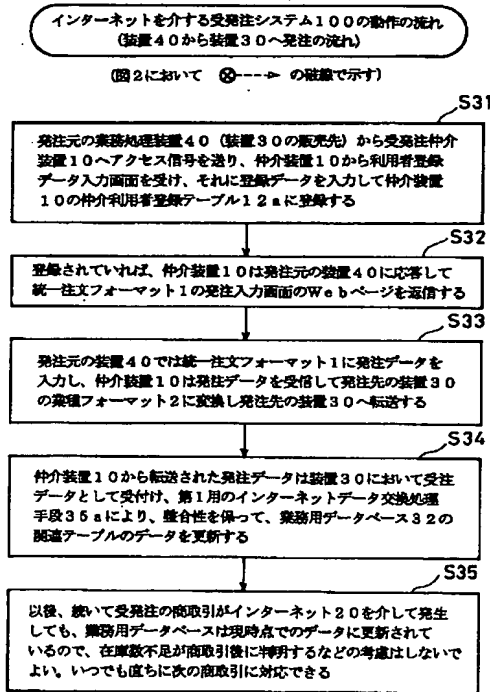
- |     |                      |
|-----|----------------------|
| 1   | 統一注文フォーマット           |
| 2   | 発注先企業業種フォーマット        |
| 10  | 受発注仲介装置              |
| 11  | 仲介管理用端末              |
| 12  | 仲介用データベース部           |
| 12a | 仲介利用者登録テーブル          |
| 12b | 統一注文フォーマットテーブル       |
| 12c | 業種フォーマットテーブル         |
| 12d | 利用者仲介履歴テーブル          |
| 12e | 発注先企業業種リストテーブル       |
| 13  | データベースサーバ            |
| 14  | Webサーバ               |
| 15  | 処理制御サーバ              |
| 15a | 仲介利用者登録手段            |
| 15b | 発注データ受信／発注先企業判別手段    |
| 15c | 業種フォーマット変換手段         |
| 15d | 発注先企業データ送信手段         |
| 15e | 発注先企業受注確認手段          |
| 20  | インターネット              |
| 30  | 企業／個人会員の受発注業務処理装置    |
| 31  | 業務処理用端末部             |
| 31a | 業務プログラム              |
| 32  | 業務用データベース部           |
| 33  | データベースサーバ            |
| 34  | Webサーバ               |
| 35  | 処理制御サーバ              |
| 35a | 第1用のインターネットデータ変換処理手段 |
| 35b | 第2用のインターネットデータ変換処理手段 |
| 40  | 発注元の業務処理装置（装置30の販売先） |
| 50  | 発注元の業務処理装置（装置30の仕入先） |
| 100 | インターネットを介する受発注システム   |



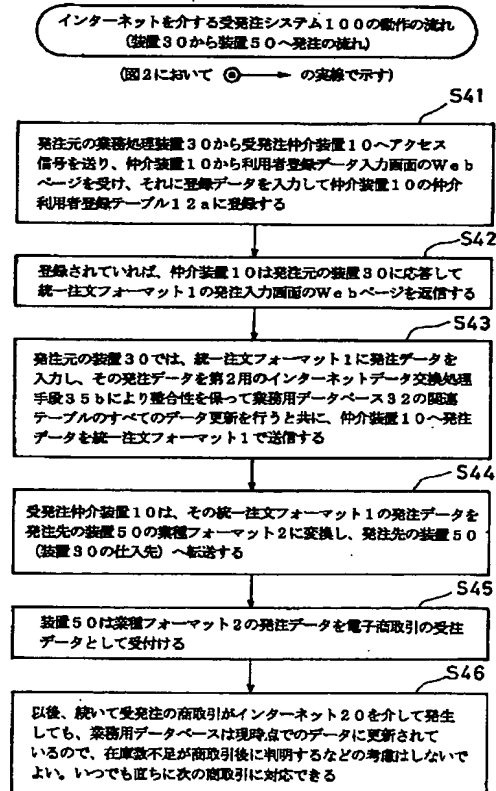
【図1】



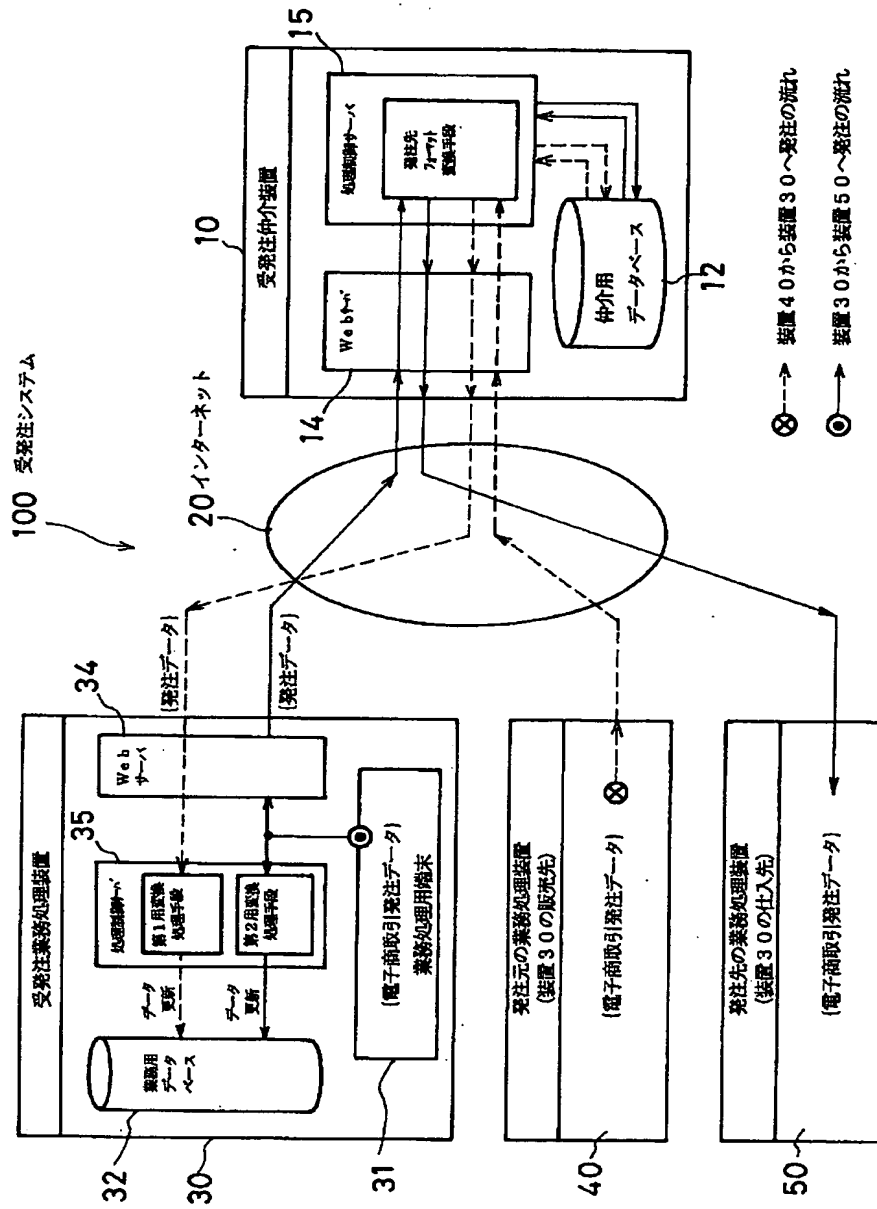
【図3】



【図4】



【図2】



【図5】

非上伝票書込処理（新規登録の場合）

図表の欄頭（[]内は引数リストの番号）

	関 数
ヘッド・明細共に列を追加している場合 ①	DDA_FFP_R=1 [①②③④⑤⑥⑦⑧⑨]
ヘッドのみに列を追加している場合 ②	DDA_FFP_R=2 [①②③④⑤⑦⑧⑨]
明細のみに列を追加している場合 ③	DDA_FFP_R=3 [①②③⑤⑦⑧⑨]
列を追加していない場合 ④	DDA_FFP_R=4 [①②③⑤⑦⑧]

引数リスト

	引 数	内 容	備 考
①	ByVal strDBNm As String	寄込先データベース名	Hit0001~hit1000
②	ByVal intInpChk As Integer	入力不変項目の内容チェックを行うか否か	0:行方、1:行わない
③	ByVal strCBC_RData As String	伝票ヘッダデータ	通し番号、欄頭符号セット
④	ByVal strH_AddData As String	伝票ヘッダデータ追加データ	③の並び順・長さの情報に合わせて付与（※桁幅対応）
⑤	ByRef withH_Add_Form0 As COLUMN_FORMAT	伝票ヘッダ追加書式	中身は COLUMN_FORMAT × 追加列数分（※桁幅対応）
⑥	ByVal intHdyoSu As Integer	書き込み処理行数	1~99
⑦	ByVal strCBC_MData As String	伝票明細データ	
⑧	ByVal strM_AddData As String	伝票明細追加データ	⑦の並び順・長さの情報に合わせて付与（※桁幅対応）
⑨	ByRef withM_Add_Form0 As COLUMN_FORMAT	伝票明細追加書式	中身は COLUMN_FORMAT × 追加列数分（※桁幅対応）
⑩	ByRef withRetData As RET_DATA	登録した伝票の通し番号、伝票番号付与用	正常に伝票登録した際に DLL 側でも付与する

フロントページの続き

(51)Int.Cl.<sup>7</sup>  
G 0 6 F 19/00

識別記号  
3 0 0

F I  
G 0 6 F 19/00

テーマコード (参考)  
3 0 0 B

(72)発明者 黒 圖 成 一  
東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 株式会社オービックビジネスコンサルタント内

(72)発明者 高 橋 知 久  
東京都新宿区西新宿2丁目1番1号 株式会社オービックビジネスコンサルタント内  
Fターム(参考) 5B049 AA01 AA02 BB07 BB11 CC05  
CC27 DD01 DD05 EE00 EE05  
FF03 FF09 GG02 GG04 GG07